



データ共有がより早く! かんたんに! 「AirDrop」

「AirDrop」はiPadに標準搭載の機能で、近くにいる相手の端末に写真や動画など、さまざまなデータを無線で共有することができます。今回は便利な使い方をご紹介します。

データ送受信

〈例〉 学生が撮影した看護手技の動画データを先生に提出

送信側のiPad (学生)



①送信するデータを選択。



②  をタップ。



③「Air Drop」を選択。



④送信先の端末名を選択し、送信。

受信側のiPad (先生)



①送信元の端末名を確認して「受け入れる」を選択。



②受信したデータが保存される。

「AirDrop」のメリット

- インターネット接続ができない環境でもデータの送受信が可能
- 送受信速度が速い
- 複数のデータを一度に送信できる
- 写真や動画の画質を落とさず共有できる

※ 「AirDrop」は、『iOS7』以降を搭載したiPhone 5以降のiPhone、iPod touch(第5世代)、iPad 4以降のiPad、及びiPad mini、OS X Yosemite以降搭載 & 2012年以降のMacが対応しています。

iPadの表示名を変更

「AirDrop」での送受信時に表示される端末名は、設定から変更することが可能です。学生の名前などに設定しておけば、どのiPadに送受信すればよいかが一目瞭然です。



①「設定」>「一般」>「情報」を選択。

②「名前」を選択。

③名前を入力。

「AirDrop」の受信設定を変更

「AirDrop」は、近くにおいて、かつAirDrop機能を有効にしている端末を検出します。設定が「受信しない」になっていると、送受信ができません。連絡先に登録していない人からの受信を避ける場合は、「連絡先のみ」に設定することをおすすめします。



①「設定」>「一般」>「AirDrop」を選択。

②受信設定のいずれかを選択。



※ご注意※ 保存したデータの取り扱い（著作権など）には、十分ご注意ください。



お問い合わせ

MC 株式会社 メディカ出版 基礎教育営業課
〒532-8588 大阪市淀川区宮原3-4-30 ニッセイ新大阪ビル16F

TEL : 06-6398-5039
Mail : info-dng@medica.co.jp